

NTT西日本グループのCSR

NTT西日本グループは、創業時に策定した企業理念としての「西日本スピリッツ」や、コンプライアンスをベースに策定した「NTT西日本グループが考えるCSR」およびNTTグループ各社のCSR活動の基本方針となる「NTTグループ憲章」を実践していくことで、持続可能な社会の実現に貢献します。

CSRを支える3つの価値

NTT西日本グループのこれまでの活動をCSRの観点から整理したものが「NTT西日本グループが考えるCSR」です。従来の「社会への責任を果たす」という考えから前進し、情報通信サービスの技術・資源・ノウハウなどを最大限に活かし、①お客様・地球環境・地域社会に対する「社会的価値」、②株主に対する「経済的価値」、③社員に対する「人間的価値」を創造することにより、企業価値を高めていくことで、ユビキタスな情報ネットワークによる安心・安全かつ持続可能な社会の実現に貢献していきます。

CSR推進に向けた体制構築

NTT西日本グループでは、CSR活動を経営そのものと捉え、代表取締役副社長を委員長とする「CSR推進委員会」を設置し、各種委員会とも連携を図りながら、組織横断的な体制を整えています。委員会を半期に1回、定例的に開催するほか、必要に応じて適宜開催しています。CSR推進委員会の事務局は、NTT西日本本社総務部のCSR推進室がその任に着き、社内に対するCSR活動の推進や啓発、活動状況のとりまとめなどを行うとともに、社外に対してはCSR報告書などによる情報発信の役割を担っています。

また、各現場に即したCSR活動を行える体制とするため、NTT西日本グループ会社各社にもCSR推進委員会、事務局を設置するとともに、CSR推進責任者およびCSR推進者を配置し、全社で連携を図っています。

CSR推進の計画と実践

2007年度は、NTT西日本グループのCSRを「理解促進」の段階から「実践と定着」の段階へとステップアップさせるため、CSRマネジメントの徹底を図りました。そのマネジメントの基盤となるグループ統一の行動目標を示したアクションプランを策定し、アクションプランに基づく「実行・展開」「成果の確認」「取り組みの改善」を実践しました。

具体的には、「社会的価値の増大」「経済的価値の増大」「人間的価値の増大」「コンプライアンス」の4つのミッションに対する20項目の行動目標を明示した『CSR20』を策定し、展開および成果の確認を行いました。ここで把握できた各支店およびグループトータルとしてのCSRの定着度合いを勘案し、『CSR20』の行動目標をブラッシュアップして、2008年度の取り組み改善を図っていきます。『CSR20』については、次のページ(P.11)をご覧ください。

全社員を対象にCSR教育を実施

CSR活動を推進していく上で、もっとも重要なことの一つは、社員がCSRを理解し、自らの業務において日々実践をしていくことです。そのため、NTT西日本グループでは、社員へのCSR教育に大きな力を注いでいます。教育の対象となるのは、経営のトップ層から派遣社員に至るまでの全社員であり、それぞれの立場や役割に合わせた教育メニューを開発しています。

2007年10月に開催した、経営層対象の「CSRトップセミナー」では、有識者の講演後に、参加した各地域事業本部の代表者6名がそれぞれ取り組みを報告し、CSR活動の認識を共有しました。また、現場のCSR推進責任者・推進者を対象に開催した研修には約170名が参加し、基礎知識とともにCSR展開の手法などを学びました。さらに、派遣社員なども含む全社員を対象とした研修において、一人ひとりの意識の醸成を図り、2007年度に策定したCSRアクションプランを確実に推進していくための基礎を築きました。



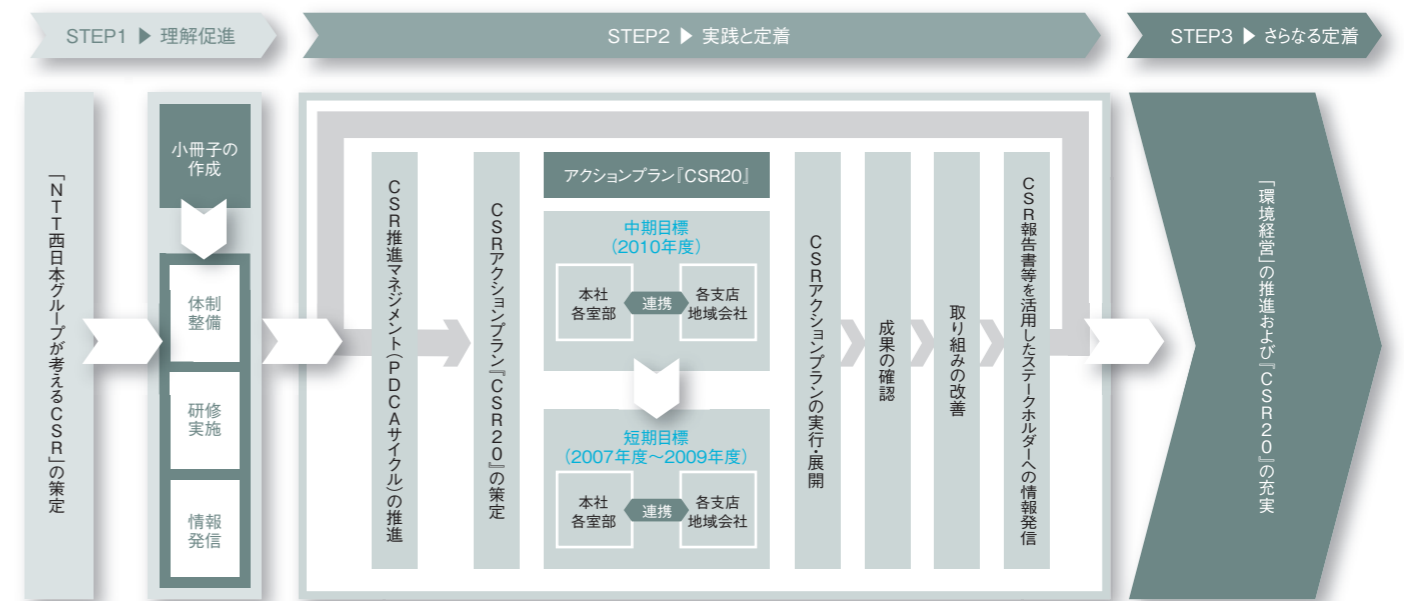
各地域事業本部代表者の取り組み報告 (CSRトップセミナー)

NTT西日本グループが考えるCSR

NTT西日本グループのCSRは、西日本スピリッツ、コンプライアンスをベースとし、本業を通じて「社会的」「経済的」「人間的」価値の創造を図ることにより、企業価値を高めていく「価値創造」活動であると考えています。



NTT西日本グループにおけるCSRのこれまでの取り組みおよび今後の方向性



NTT西日本グループのCSR

■ アクションプラン『CSR20』の充実に向けて

NTT西日本グループは、統一の行動目標を明示したアクションプランを策定し、アクションプランに基づく「実行・展開」「成果の確認」「取り組みの改善」によるPDCAサイクルを推進していくこととしています。

2007年度の定着度合いを踏まえ、今後さらにICT※1を通じた環境負荷の低減に積極的に取り組む観点から、2008年4月に「地球環境保護」に重点を置いた指標に一部見直しを行いました。これによって、今後のCSR推進をより実効性のあるものにしていく考えです。

※1 ICT:Information and Communication Technology 情報通信技術のこと。

アクションプラン『CSR20』行動目標

		アクションプラン 『CSR20』行動目標 (2007)	
人間的価値の増大	◆社員一人ひとりが誇りと働きがいを持てる職場環境を確立	■ブロードバンド・ユビキタス時代に相応しい人材の育成	「高度光・IP技術」社内スキル認定者拡大
		■働きやすい職場環境づくりの推進	労働災害撲滅
		■人権の尊重	人権研修の全社員受講
社会的価値の増大	◆カスタマー・ファースト活動を推進し、社会に貢献する安心・安全なサービスを提供する	■NTT西日本グループ中期ビジョン	お客様対応センターの質的向上の推進
		・お客様の視点に立ったサービス、品質の向上	
		・光ブロードバンドサービスの更なる品質向上	
		■災害時における安心と安全の提供	災害用伝言ダイヤル等利用拡大
		■社会貢献活動への積極的な参画	地域イベント・ボランティア活動参加拡大 e-ネットキャラバン講師登録拡大
		■地球環境保護活動の推進	CO ₂ 排出削減 オフィス内産業廃棄物削減 事務用紙削減
経済的価値の増大	◆「NTTグループ中期経営戦略」を実現する	■光化サービスの推進	フレッツ光販売計画達成
		■NGNの実現	NGN計画達成
コンプライアンス	◆企業活動の基盤となるコンプライアンスの徹底を図る	■企業倫理の確立	非違行為発生の防止
		■内部統制システムの徹底	SO法会社テスト完了
		■情報セキュリティの徹底	セキュリティインシデントの防止
		■個人情報保護の徹底	お客様情報等の漏えい防止

		アクションプラン 『CSR20』行動目標 (2008)	
人間的価値の増大		「高度光・IP技術」社内スキル認定者拡大	
		労働災害撲滅	
		人権研修の全社員受講	
社会的価値の増大	◆カスタマー・ファースト活動を推進し、社会に貢献する安心・安全なサービスを提供する	■NTT西日本グループ中期ビジョン	お客様対応センターの質的向上の推進
		・お客様の視点に立ったサービス、品質の向上	
		・光ブロードバンドサービスの更なる品質向上	
		■災害時における安心と安全の提供	災害用伝言ダイヤル等利用拡大
		■社会貢献活動への積極的な参画	地域イベント・ボランティア活動参加拡大 e-ネットキャラバン講師登録拡大
		■地球環境保護活動の推進	CO ₂ 排出削減 オフィス内産業廃棄物削減 事務用紙削減
経済的価値の増大	◆「NTTグループ中期経営戦略」を実現する	■光化サービスの推進	フレッツ光販売計画達成
		■NGNの実現	NGN計画達成
コンプライアンス	◆企業活動の基盤となるコンプライアンスの徹底を図る	■企業倫理の確立	非違行為発生の防止
		■内部統制システムの徹底	SO法会社テスト完了
		■情報セキュリティの徹底	セキュリティインシデントの防止
		■個人情報保護の徹底	お客様情報等の漏えい防止

2009年度

前年度実績を踏まえ2009年4月ごろ作成

「環境経営」の推進および「CSR20」の充実